

西九州新幹線が開業しました。 文責 学校長



～23日には武雄高校で花火があがりました。～

9月23日(金)に西九州新幹線が開業し、沿線の市では開業を祝うイベントが開催されました。23日の夜には武雄高校グラウンドで、18時59分発の新幹線に合わせて花火が8分間打ち上げられました。その模様を本校写真部11名が本校校舎からと丸山公園からそれぞれ撮影し、その様子をFBSが取材し、明日(27日)の17時からのFBSの番組内で放映される予定です。是非録画予約して御覧ください。

1 弓道新人大会で女子優勝、男子2位に輝き、九州大会出場を勝ち取りました。

9月24日(土)・25日(日)に開催された「佐賀県高等学校弓道新人大会」において、本校弓道部は女子A・B両チームが予選を突破し、上位5チームによる決勝戦に挑み、古賀由夏さん(1-6)・山口美生菜さん(1-1)・中村優里さん(2-3)・江口弥希さん(2-5)・山口葉月さん(2-5)・川内遥花さん(2-4)・川野真央さん(1-1)のBチームが4戦全勝で優勝しました。Aチームは4位でした。また、片淵壮陽くん(1-2)・阪本優心くん(1-2)・蒲地悠人くん(1-1)・大賀一正くん(2-5)・山崎功大くん(2-1)・古賀至くん(1-3)の男子チームは2位に入り、男女ともに九州大会への切符を手に入れました。



2 野球部初戦突破。鳥栖工に2-1で勝利。2回戦は先制するも6-5で惜敗。

9月23日(金)に「秋季高校野球県大会」が開幕し、本校野球部が初戦の対鳥栖工高戦に挑み、緊迫した投手戦を制して、2対1で勝利し、新チーム初勝利を挙げました。中1日で迎えた25日(日)には2回戦の対嬉野高校に挑みました。初回に1点先制されるもその裏に一挙4点を取り逆転、その後投手戦となりました。7回の表に守備の乱れもあり5点を取られ逆転を許すも、8回に1点を返し一点差とし、最終回一死1・2塁のチャンスを作るも相手守備の巧さにチャンスの目を摘まれ、6対5で惜敗しました。



3 今週の名言・・・クリスティアーノ・ロナウドの言葉です。

苦しみのない栄光などない。困難が増せば増すほど、勝利の価値もあがる。僕だって疲れることはあるけど、練習しないための言い訳を探したことなど一度もないし、これからのない。僕は完璧主義者ではないが、物事がうまくいっていると感じられることは好きだ。もっと大切なことは、学ぶこと、向上すること、進化することの必要性を常に感じるができることだ。



【解説】サッカー界のスーパースターであるロナウドの言葉です。彼は小さい頃から誰よりもサッカーに人生を捧げてきました。時間があればボールに触り、一人でも坂道に向かってボールを蹴り練習していたといいます。また11歳の時にはプロになることを決意し、誰よりも意識高くトレーニングを重ねていました。持って生まれた才能はありますが、他を凌駕する長きにわたる練習量と高いモチベーションが今のロナウドをつくっているとんでも過言ではありません。何事も近道ではなく、地道な積み重ねが人を成長させていくのだと、ロナウドの言葉は語っています。大谷君同様、小さな積み重ねが大きな成長へとつながるといことです。(参考:「ことばをまなぶ」より)

【クリスティアーノ・ロナウドについて】07-08シーズンでリーグ得点王、CL得点王の2冠に輝く。08年にはバロンドール(欧州最優秀)、世界最優秀選手をW受賞。代名詞ともいえるシザースフェイント、快速ドリブル、無回転FKが蹴れるうえにヘディングも強い。母国スポルティンゴ・リスボンから03年マンUに渡り、09年夏にR・マドリーに移籍。10-11シーズンから背番号7に変更した。17-18シーズンにR・マドリーでCL3連覇と得点王に輝くと、18年7月にはユベントスに移籍。その後、再びマンUに戻り現在に至る。(参考:「ゲキサカ」より)

4 今週の話成語・・・「知る者は言わず、言う者は知らず」【問題】英語で表現すると？

物事を深く知っている人はみだりに口に出さないもので、やたらと言いたがる人はかえってよく知らないものである。(出典:『老子』より)

【由来】「物事をよく知り抜いている人はみだりに口に出して言わないが、よく知らぬ者はかえって軽々しくしゃべるものである。」という意味です。本当に理解している人はそれらについて話さない。べらべらと語りたがる者はまだ理解が足りないのだということ。弁舌巧みな人ほど、思想・思考が実は浅いということなのかもしれませんね。

5 入試によく出る漢字(その49)・・・センターテスト(1991度本・追試験)に挑戦!

- 【本試験】(1) 何の目じるしもなく、里程 [ヒョウ] もなく、・・・〔漂・表・標・評・票〕
- (2) ほとんども [ボウ] にひとしい。・・・〔謀・忘・妨・某・剖〕
- (3) 刻々に変化する状況が夢想をヨク [シ] し、・・・〔至・止・示・使・始〕
- (4) [ユ] ダンのない目を離さない。・・・〔輸・愉・諭・油・由〕
- (5) さながらメイ [キュウ] の支配者のように。・・・〔急・宮・究・球・及〕
- 【追試験】(1) 位置・運動等に [カン] ゲンされることによって、・・・〔甘・換・環・還・鑑〕
- (2) レモンをみて、そのコウ [タク] に惹かれ、・・・〔扱・沢・拓・宅・託〕
- (3) 純真ソ [ボク] な農夫が都会人の空想であるように、・・・〔木・牧・朴・僕・墨〕
- (4) その科学の対象とする [リョウ] イキの全体と。・・・〔霊・僚・陵・量・領〕
- (5) それを通してトウ [ジ] シャの人生の全体、・・・〔事・自・示・治・時〕

6 今週の一冊・・・窪美澄の『夜に星を放つ』(文藝春秋社)です。

かけがえのない人間関係を失い傷ついた者たちが、再び誰かと心を通わせることができるのかを問いかける短編集。

コロナ禍のさなか、婚活アプリで出会った恋人との関係、30歳を前に早世した双子の妹の彼氏との交流を通して、人が人と別れることの哀しみを描く「真夜中のアボカド」。学校でいじめを受けている女子中学生と亡くなった母親の幽霊との奇妙な同居生活を描く「真珠星スピカ」、父の再婚相手との微妙な溝を埋められない小学生の寄る辺なさを描く「星の随に」など、人の心の揺らぎが輝きを放つ五編。(参考：本書裏表紙説明より)



【解説】第167回直木賞に輝いた窪美澄の『夜に星を放つ』を早速購入して読んでみました。

5編からなる短編集で、いずれも星をモチーフにしており、若い女性、少年、少女、離婚した男性と主人公はすべて違いますが、誰もが他者との関係に悩む姿を描いている点では共通しています。ハッピーエンドを期待する読者には物足りないかもしれませんが、かといって底知れぬ悲劇が起こるわけではなく、最後にかすかな希望さえも感じられる結末にいい意味で裏切られる点こそが、この作品が評価された点ではないかと思います。中でも『真珠星スピカ』は、小学校時代に流行ったこっくりさんが懐かしく思い出され、痛快な結末に快哉を叫びたいくなる作品です。作品中に、この2年余り、世界の人々に多大な影響を与えているコロナ禍を明確に扱っている点も共感去れているようです。

【作者・窪美澄について】1965年東京都生まれ。2009年「ミクマリ」で女による女のためのR-18文学賞大賞を受賞。受賞作を収録した『ふがない僕は空を見た』が、本の雑誌が選ぶ2010年度ベスト10第1位、2011年本屋大賞第2位に選ばれる。また同年、同書で山本周五郎賞を受賞。12年『晴天の迷いウジラ』で山田風太郎賞、19年『トリニティ』で織田作之助賞を受賞。(参考：本書表紙裏の著者紹介文より)

7 世界遺産を巡る・・・第74回はヴェネツィアとその潟(イタリア)(登録：1987年)

【解説】イタリア北部に位置するヴェネチアは、東西貿易の中継地として繁栄し、「アドリア海の女王」といわれる都市にまで発展しました。ヴェネチアは英語でベニスといい、様々な作品に登場します。ヴェネチアでの交通手段は徒歩と船のみです。ゴンドラに揺られながら美し街並みを楽しめます！ヴェネチアと言えばゴンドラと水路が有名ですが、サン・マルコ寺院などの歴史的建造物も見ごたえがあります。長くビザンティン帝国の支配下にあったヴェネツィアは、9世紀前半に聖マルコの遺骸を得て国の守護聖人とし、独立をはたしました。サン・マルコ広場に面し、隣接しているドゥカーレ宮殿に繋がっているヴェネツィアで最も有名な大聖堂、それがサン・マルコ大聖堂です。幾重にも連なるファザードのアーチ。極彩色のモザイクが施された半円形の壁画。五つのドームは、巨大な僧帽のように見え、ドームの間に屹立するいくつもの尖塔には、聖人や天使の像があらわれて、訪れる人を天空から見下ろします。ビザンティン様式の現在の大聖堂は、1063年に改築が始まり、約400年後に完成しました。『キリスト教の旗の下に航海する東方の建物』と形容される威容は、9世紀～18世紀にかけて東方との交易で巨万の富を得たヴェネツィア共和国の歴史を今に伝えています。(参考：「世界遺産人気ランキング」より)



8 街角グルメを訪ねて・・・第74回は佐賀市の「吾輩は虎である。本店」です。

前回紹介した「カツカレーの虎」の姉妹店、炭火焼き肉井専門店「吾輩は虎である。本店」を紹介します。場所は県庁通りと西部環状線の交わる交差点から県庁方面へ100mほど行った左手にあります。駐車スペースが狭いので、駐車テクニックが問われます。席数はカウンターの10席のみ。「ハンバーグマン 佐賀南店」、「カツカレーの虎」の店主・那須正幸さんが新たに開く肉料理専門店の3店目。備長炭を使い焼いた肉を井で提供するスタイルです。メニューは、「並・癖になる焼肉井」(1,000円)、「上・やめられない焼肉井」(1,500円)、九州産黒毛和牛を使う「特上・熱狂する焼肉井」(2,000円)。いずれもキムチとわかめスープが付きます。この日は「並・癖になる焼肉井」を注文。最初は、焼肉井をそのまま味わい、薬味で味変し、最後はひつまぶしの要領でだし茶漬け風にして味わいました。食ベログでは、「肉まぶし専門店」とも謳っています。だしは、わかめスープが徳利でたっぷり供されるので、自分の好みで味わえます。副菜のキムチもなかなかのアクセントになります。住所は、佐賀市八戸1-3-20です。「カツカレーの虎」と同様、駐車スペースが限られているので、タイミングが合わないと止められない恐れがあるので、お昼のピーク時は避けた方が良いでしょう。駐車テクニックに自信のない方は、駐車時に十分お気を付けてください。



9 保護者の皆様へ・・・武陵祭がケーブルワンで放映されます。

放映予定◇文化祭…26日(月)・29日(木)◇体育祭…27日(火)・30日(金)※10月に再放送の予定あり。

【英語】◇ he who knows, does not speak, he who speaks, does not know ◇ those who know do not talk, those who talk do not know

【正解】【本試験】(1) 里程標 (2) 無謀 (3) 抑止 (4) 油断 (5) 迷宮

【追試験】(1) 還元 (2) 光沢 (3) 素朴 (4) 領域 (5) 当事者